

みよし教育サミット

～子どもに夢を～
～先生に夢を～
～地域に夢を～



早稲田大学大学院公共経営研究科 グループA

フィールドワークメニュー

- 市教育委員会取材
- 中学校訪問
- 小学校訪問
- コミュニティセンター訪問
- アンケート調査
- 市民への取材
- 人骨取材
- 美術館訪問



安倍構想 ~ 学力向上と「公」の意識 ~

- ・「百年の計」の教育再生をスタート
- ・すべての者に高い学力と規範意識を身につける機会の保障
- ・数学・理科・語学など基礎学力の再強化プログラム
- ・公教育の充実・強化
- ・高校・専修学校・高専等における社会ニーズにマッチした教育体制の強化
- ・大学・大学院の国際競争力と国際連携推進
- ・研究開発機関の再編・強化
- ・学校・教師の評価制度の導入
- ・学校教育における社会体験・活動の充実

吉岡市長の教育方針

- 少人数制学級(教育都市みよし特区申請) **達成**
- 学力テストの実施と公開 **進行中**
- 学区制の自由化 **達成**
- 小学校英語活動授業 **進行中**
- 朝読 **進行中**
- 市独自で教員採用 **進行中**
- 教員の自宅研修は **認めない**
- 三次市教職員夏季研修講座 **進行中**
- 3快プラン **進行中**

三次市は「国」の壁をすでに超えてた!?

- いよいよ **教育改革政権**

学校選択制 学校評価 予算配分(教育利用券)

国は2007年4月から小学校6年生と中学校3年生を対象に

学力テストを復活

国が求める方向性に

な・ん・と

現在の三次市は・・・

三次サプライズ！！

- 少人数制を導入し、
- 学力テスト結果を公開し、
- 各学校の点検し、
- 校長先生の権限を強化し、
- 着実に学力アップした！

成果をあげているのです

たとえば…



サプライズ 「ことば教育」

自分の思いを言葉にする

自己肯定感を高める

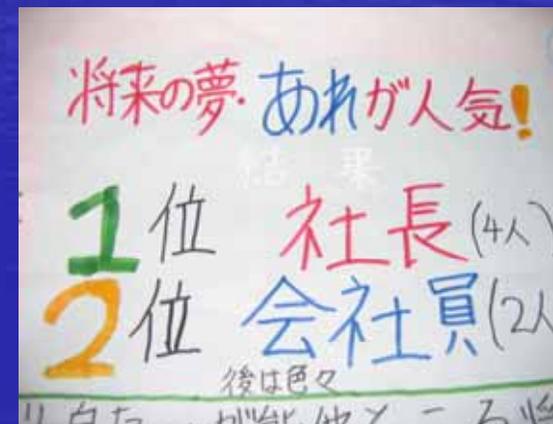
言葉の力で「豊かな心」

「確かな学力」を培う



サプライズ 「キャリア教育」

- こどもインターンシップをすでに実施
- 約600名の中学生を約400の企業へ
- 中学2年生が5日間勤労観を培う
- 事前準備・マナーの徹底
- 自分探しの旅を助ける工夫が凝らされ
「実践力」の向上と「人間力」の育成



サプライズ 「地域の教育力」

- 我が街教師の存在
 - 伝統工芸の達人やプロ野球選手との接触
 - 本物のアートとの触れ合い など
- 地域の独自性を生かした
「民」の教育力の土壌がすでに存在！

サプライズ 「抽象化の壁」の発見

児童・生徒の発達段階(10歳~12歳)

「具体との出会い」から「抽象化」への
ステップ段階の頃と一致

- 算数から数学へ 突然難しくなる戸惑い
- 夢や目標が大きく低下する傾向

現地調査 三次中学校

「ことばの教育」パイロット校

平成16年度開始

平成13年度に多発した

問題行動が平成17年度にはゼロに

「ことば教育」の実践による

良循環が生まれた！

学習面	心の豊かさ	生活面
英語をがんばる。	短気を出さない。	宿題をする。

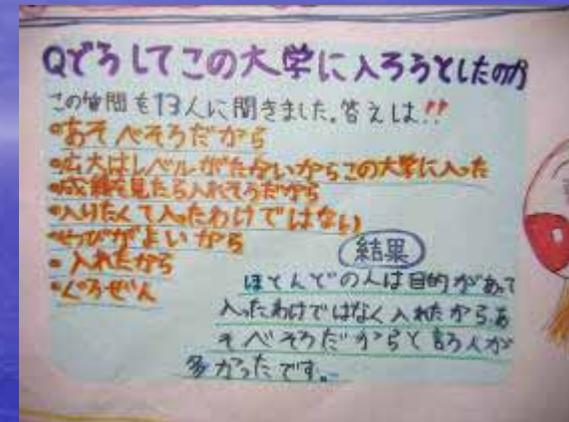
学習面	心の豊かさ	生活面
勉強をがんばる	自分ばかりでもないで 出来るだけ優しくする にしよう	友達と仲よくする

現地調査 塩町中学校

キャリア教育の推進

- 1年生 高校訪問
- 2年生 大学訪問・職場体験
- 3年生 リトルティーチャー・ボランティア

「実践力」向上 「人間力」育成



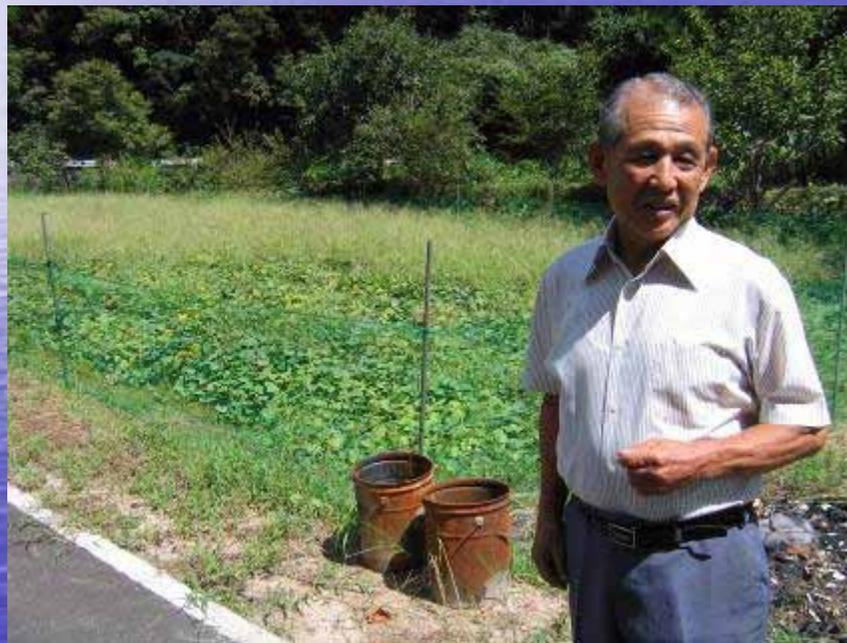
現地調査 青河小学校

- IT教育の実施
- こどもに夢を～先生に夢を～
地域に夢を
- 地域の教育力との連携
(青河コミュニティセンター)



行政に依存せず、地域住民が 廃校を救った！

住民が出資し、家を建設 定住促進策を執行



学校

連携

家庭

コミュニティ



青河コミュニティセンター

教育現場の課題をヒアリング

文部科学省の学習指導要領によると…

選択制の時間が中3「週7時間」**多すぎる**

教員の数が足りない **人材不足**

私たちの疑問

- しくみは完璧 資料も完璧
 - 取材現場はすばらしい
- しかし・・・
- 市執行部と教育現場の温度差
 - 緊張した雰囲気

果たして本当の姿はどこに？

三次教育改革で生じた問題

答案改ざん事件の発生

県教組支部や「親の会」が反発

教員確保に苦慮

合併町村の人々の戸惑い

市民からの厳しい声

「吉岡市長は人の話を聞かない」

「教師の負担が重過ぎる」

「もっと説明責任を果たすべきだ」

「年1回のテストでレッテルを貼るな」

「テスト公開は生徒の自信をなくす」

アンケート結果 ~ 現場の先生方

1. 吉岡市長が行っている「学力テスト」の実施と公開について

賛成 1人 反対 10人 どちらとも言えない 1人

2. 学校選択制について

賛成 1人 反対 0人 どちらとも言えない 11人

3. 教育改革のスピードと現場とのギャップ

感じる 5人 感じない 0人

どちらとも言えない 7人

教育現場の厳しい声

- 学力テストの実施・分析は**評価**だが**公開の必要性なし**
- **競争原理は間違い**
- 文科省に**振り回されている**
- こどもたちの将来に**危惧を感じる**
- キャリア教育、少人数指導が**継続できるか不安**

アンケート結果 小学校6年生

1. 学校は楽しい？

はい 17人 いいえ 0人

2. 中学校が楽しみ？

はい 10人 **不安 6人**

どちらとも言えない 1人

3. 勉強が難しくなったと感じる

はい 17人 いいえ 0人

4. 夢達成に自信がある？

はい 0人 **いいえ 17人**



アンケート結果 ~ 吉岡市長

Q. 公立小中学校への視察

A. 入学・卒業式への出席
地域行事の合間を見て不定期に訪問

Q. 現場の教職員との対話

A. 校長会とは講話、交流会の開催
現場の教職員とはほとんど協議等を行うことはない

アンケート結果 ~ 吉岡市長

Q. 児童、生徒、保護者との対話

A. 中学生とは「みよし夢ビジョン100年会議」の委員など、**機会が多い**

私自身が小・中・高・の保護者であり、情報収集は**教育委員会よりも出来ている**

Q. 現在の教育問題への取組みで市長が悩んでいること

A. **教育委員会の存在や自治体の独立性**

国、県の関与が強すぎる

市町村立と言いながら、人事権等を持っていない

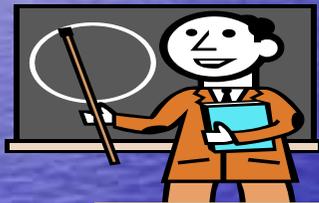
能力のない教員の今後の方向

対話の必要性あり！

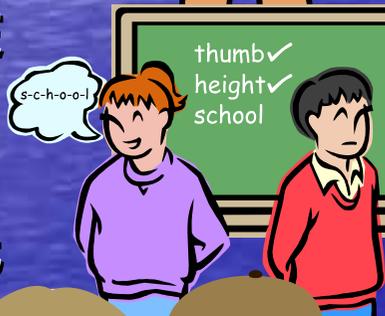
- 市長



- 教員



- 生徒



- 市民



教職員との協議はない
教育委員会の存在
国、県の関与
人事権等を持っていない
能力のない教員

公開の必要性なし
競争原理は間違い
文科省に振り回される
こどもたちの将来に危惧
キャリア教育、少人数指導が継続できるか不安

中学進学不安
夢実現に自信ない

話を聞かない
負担が重過ぎる
説明責任
レッテルを貼るな
自信をなくす

みよし教育サミット開催

みよし教育サミット式次第(案)

吉岡市長 熱く語る

教育長 挨拶

子ども半分成人式

夢レター ・ 夢タイトル通り

講演「これからの教育改革と子どもたち」

講話「三次のルーツを探ろう」

教職員と市長との「本音トーク」

～志(ベクトル)をひとつにするために！～

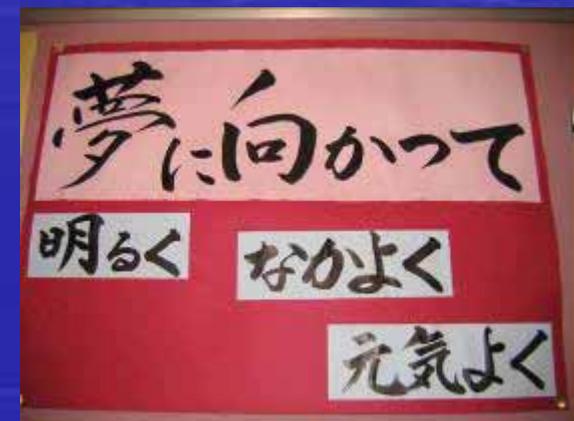
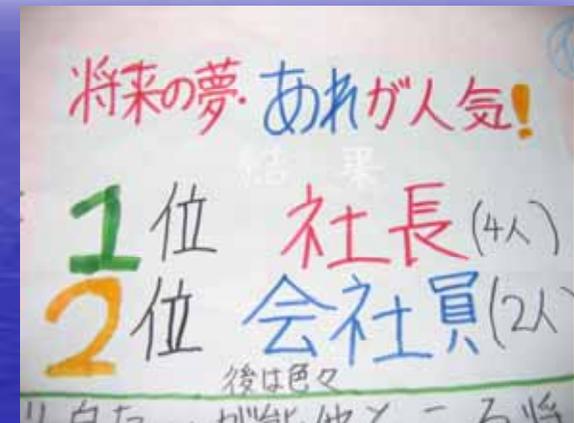
市民が陪審員

主催:三次市役所・三次市教育委員会

共催:早稲田大学大学院公共経営研究科

「半分成人式」の提案

- 10歳(20歳の半分)で「成人式」をする
- 民間ボランティアの協力で開催する
- 10年後、20年後の自分に手紙を書く
- 大人になって迷ったときの「気づき」となる



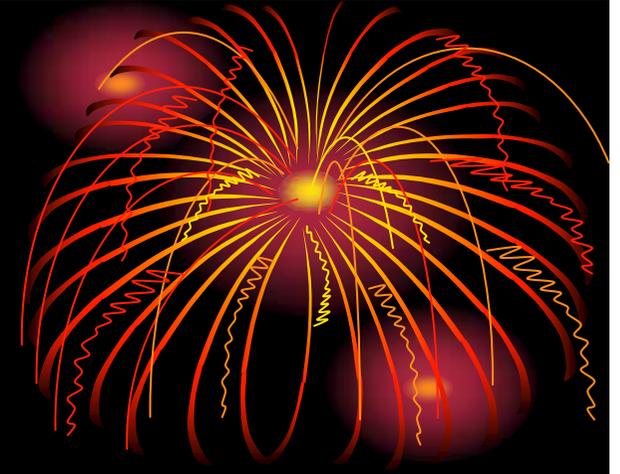
「夢タイル通り」の提案

- 駅前の再開発地域の歩道
- 三次産の赤土でタイルをつくり
- こどもたちに「将来の夢」を書いてもらう
- ハリウッドの手形

教育長さんの夢

- せめて2泊3日のキャンプを「民」と一緒にやれたらいいんじゃないかと・・・
- どうぞ！ 早稲田大学の学生にお任せ下さい！

夢達成！ 支援します！





子どもに夢を 先生に夢を 地域に夢を